

別紙3 令和6年度 学校関係者評価書 作成日:9月18日 国分寺市立第三中学校 校長名 植木 淳

教育目標: ○自ら学び、よく考える ○進んで協力し、他人を思いやる ○心身ともにたくましく、最後までやりぬく
 めざす学校像: ○生徒が主体的に学び、活動する学校 ○教職員が協働して教育活動を創造する学校 ○保護者や地域社会から信頼される学校
 めざす生徒像: ○目標をもち、自ら考え行動する生徒 ○協力の精神をもち、仲間に貢献する生徒 ○強い意志と自信をもち、努力を続ける生徒
 めざす教師像: ○教育者としての責任感と誇りをもつ教師 ○生徒の可能性を引き出し伸ばす教師 ○協調性をもち、互いに高め合う教師

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標 (中間)	努力指標 (最終)	成果指標 (中間)	成果指標 (最終)	今後の課題	学校関係者評価記入欄
健全育成	互いに学び合い、認め合い、高め合うことで、思いやりの心や豊かな人間性を育み、一人一人が居場所と感じ、安心して成長できる集団をつくる。	生徒の自発的・自治的な活動により、自己肯定感を高め、生徒の居心地のよい環境を整えることで、不登校やいじめの未然防止につなげる。	生徒のよさを見付け、褒め、認め、励まし、伸ばす指導(コンプリメント)を推進する。	4		4		○コンプリメントの継続と徹底。	・個人の人間性を損ねたり、否定する行動をする生徒がいるようですので、指導徹底いただくとともに、ご家庭への情報共有も必要かと存じます。 ・単に耳ざわりの良い言葉がけではなく、生徒の気持ちに寄りそった共感的な理解が伴った励ましができるかが課題と考える。
			学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒が活躍する場面を意図的に設定する。	3		4		○全校での学校行事の充実。 ○主体的な生徒会活動の活性化。	・2学期も、行事や課外活動を通して「分三魂」を学び、発揮してほしい。中学時代の思い出が強烈に輝きますように。 ・コロナ禍で三中の伝統が途絶えてしまうのではないかと心配をしましたが、体育祭、合唱祭と引き継がれていくのだと安心しました。
学力向上	分かる授業、意欲を引き出す授業を実践し、確かな学力を身に付けさせる。	一人1台端末等のICTを日常的に活用し、個別最適な学び・協働的な学びの一体的な充実により、主体的・対話的で深い学びを実現する。	一人1台端末等のICTの活用、授業のユニバーサルデザイン化を実践する。	3		3		○ICTによる個別最適な学びの推進。 ○表現活動におけるICT活用の推進。	・ICTを活用していない教科のフォローが課題である。 ・小学校では、子供同士の意見や考えの交流のための活用を目指している。
			質問教室やサポート教室により補充学習を充実させ、基礎・基本の定着を図る。	3		4		○補習教室の継続的な実施。	・2学期から補習教室の人員確保の目処がたったとの報告を受けているので、今後充実することを期待しています。 ・放課後や授業時間内などいろいろな形で補充学習の機会があると良いと思います。
特色ある教育活動	地域の多様な教育資源を活用し、社会に奉仕・貢献することの大切さを生徒に意識させる。	交流事業を通して小・中連携した授業改善・指導の充実を図る。また、地域と連携した防災教育を通して安全・安心な地域づくりに貢献する態度を育てる。	「国分寺学」の実践を通して小・中連携した系統的な学習を推進する。	4		4		○PDCAサイクルに基づく「国分寺学」の実践。 ○小・中連携から得られた、地域の人材活用。	・ふるさと国分寺が好きと言える生徒になってほしいです。小・中連携して、お互いの顔が見える活動ができるといいですね。 ・二小、八小と三中が連携することで地域がより豊かになると思う。手伝えることがあれば是非一緒に取り組みたい。
			防災を中心とした地域連携を推進し、生徒の社会貢献への意識を高める。	3		4		○地域の防災を自分事として捉えられる取組の実施。	学校は地区防災センターとして、災害時に地域に貢献することになっている。地域住民は日常的に登下校時の生徒の様子を見守り安全を確保に協力していきたい。 ・2月の避難所運営ゲームに期待いたします